

令和5年度第1回豊頃町総合教育会議 会議録

- 1 開催日時 令和5年7月25日(火)
14時30分～15時38分
- 2 会場 豊頃町える夢館委員会室
- 3 出席者 豊頃町長 按田 武
豊頃町教育委員会
教育長 中川 直幸
教育長職務代理者
宝田 博幸
委員 長濱 竜一
委員 鈴木 千賀子
委員 田頭 保
- 4 出席説明員 豊頃町役場総務課 課長 熊谷 雅美
豊頃町教育委員会 課長 森 直史
総務係長 佐藤 尚志
体育振興係長 滝沢 諒
専門員 廣澤 行位
- 5 協議・調整事項

町営スケートリンクに係る今後の在り方について
学校給食費の補助金交付の検討について
その他について
- 6 審議経過 次のとおり

令和5年度第1回総合教育会議議事録

森課長	<p>ただいまから令和5年度第1回豊頃町総合教育会議を開催いたします。はじめに按田町長からご挨拶いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
按田町長	<p>皆さんお疲れ様です。</p> <p>日頃から、皆様におかれましては、町の教育行政の中心に携わっていただきまして、心より感謝を申し上げます。</p> <p>本日も大変な暑さが続いているところでございます。</p> <p>先日、小麦の収穫作業と農協の麦乾施設の見学に行っていました。</p> <p>今のところは作柄も順調というところで、一昨年にも及ぶという話を聞いております。また、7月中に収穫作業が終わるということは今までも無かったことであろうと思います。</p> <p>海のほうについても、秋鮭の来遊予想が昨年よりも多くなるといった話も聞いています。</p> <p>1次産業を主体とする町といたしましては、明るい要素であり、期待ができることと思っております。</p> <p>コロナも5類に移行されたこともあり、夏休みに入って観光客の来道が非常に増えたことで活気づく中、交通事故などについて懸念されるところでありますので、注意喚起についても教育委員会をとおしておこなっていきたいと思います。</p> <p>また、豊頃小学校改修工事についても、今のところ順調に工事が進んでいると聞いています。来年4月の小中併設のスタートに向けて、皆様からのご意見等いただければと思っております。</p> <p>さて、今回の議題について、2点ほどあるかと思いますが、特に給食費の補助金交付について、6月の議会定例会でも質問を受けたことで、現課と調整を図って進めてまいりました。皆様からのご意見をいただいて、審議を進めたうえで、9月の議会定例会でこの案件を議案にかけていきたいと思っておりますので、忌憚のないご意見をいただきますようお願いいたします。</p> <p>長くなってしまいましたが、以上を持ちまして挨拶に代えさせていただきます。</p>
森課長	<p>このあとは、会議の運営要綱第3条の規定に基づきまして、町長が会議を進行いたします。</p>
按田町長	<p>それでは、協議・調整事項に入ります。町営スケートリンクに係る今後の在り方について事務局から説明をお願いします。</p>

滝沢係長	<p>これまでの経緯といたしましては、町営スケートリンクは、長年、豊頃小学校グラウンドに400mリンクを「豊頃町営スケートリンク造成委員会」の協力によって運営を行ってきました。しかし、豊頃中学校新校舎がグラウンド敷地の一部に建設されることにより、同規模のリンクが造成出来なくなったことを機に造成委員会の在り方について協議され、後継者不足等を理由に令和3年3月に解散しました。</p> <p>これを受けて、豊頃小学校グラウンドで規模を縮小して学校リンクを同校PTAで造成できるかの可否について協議を行ったところ、人材や技術面で難しいとの結論を受けたため、町長部局と町教育委員会で協議し、豊頃中学校グラウンドに400mの町営リンクを試行的に造成することとし、関係機関の理解と協力を得て、令和3年度と令和4年度の2か年開設したということでございます。</p> <p>試行期間の結果といたしましては、造成体制について、今回の試行期間については、リンク造成委員会の元会員や競技経験者等の中から賛同を得られた方々の参加により「豊頃町営スケートリンク造成協議会」を設立しました。構成人数については7～9人。造成体制は、3班体制で毎回2～3人の出役で作業を行っているところです。</p> <p>リンク施設状況については、豊頃中学校のグラウンド及び町営ソフトボール場の敷地に対角線上に400mメインリンクと内側にサブリンクを造成しました。初年度は雪不足の影響もあり苦慮しましたが、従来リンクとほぼ同等規模・状態で造成することが出来ました。</p> <p>また、シーズン終了後のグラウンド状況についても特段問題は見られなかったということでした。各年度の開設日数について、令和3年度は36日（令和4年1月5日～令和4年2月14日）。令和4年度は37日（令和5年1月2日～令和5年2月13日）となりました。</p> <p>利用状況について、豊頃小学校の授業（体育）、町スケート少年団が利用しました。令和4年度には3年振りに町スケート協会主催による町民スケート大会も同リンクで開催されました。利用者数について、令和3年度は943人。1日平均26.19人。令和4年度は1,103人。1日平均29.81人となりました。</p> <p>2年間の試行期間を経て、今後の在り方を改めて検討するため、豊頃小学校、同校PTA、町スケート協会等の関係機関に試行期間の使用状況についての感想や意見、今後の意向等の調査を行いました。</p> <p>設置位置（豊頃中学校グラウンド）については、「小学校校舎から少し離れてはいるが徒歩で移動可能な距離である。授業を2時限続けて実施するなどにより移動時間も問題にならない。」</p>
------	--

	<p>施設の使用状況について（スケートハウス・屋外トイレ等）は、「以前のスケートハウスよりもスペースが広く準備や休憩がしやすい。屋外トイレについても清潔で広さもあり、防寒着の着脱をするのに十分で、暖房も完備されていてよい。」</p> <p>リンクの規模（400m）については、「本町のスピードスケート競技人口の拡大や大会開催を考えると400mリンクがあったほうがよいと考える。」</p> <p>その他にも、「仮に学校リンクを造成するとなると、経験や技術が必要となるためPTAで取り組むのは難しいので、町営リンクを設置してもらえるのであれば助かる。」等の意見がありました。</p> <p>以上の各団体の意向を踏まえ、町営スケートリンクの必要性と試行期間中のリンク造成方法について理解と評価を得られたと判断し、今年度以降についても同様の方式でスケートリンクを設置することとしたいと考えております。</p> <p>施設内容について、基本的には試行期間と同様の内容で開設する予定です。西側の照明について、仮設の投光器を設置して対応しましたが、より照度の高いものを設置したいと考えています。また、昨シーズン途中でホーキングマシーン車両が故障したため修繕する必要があります。</p> <p>造成体制について、試行期間中に造成を担った豊頃町営スケートリンク造成協議会について、試行期間限定での活動としていたため、昨年度末に解散しております。</p> <p>今後の造成体制について同協議会と意見交換を行った結果、引き続き協力を得られる元会員が参集し、名称を継承する形で改めて設立することとなり、第1回目の会合が7月19日に開催され、今年度の組織体制や造成方法等について協議が行われております。</p> <p>教育委員会としては、同協議会に引き続きスケートリンク造成を委託したいと考えているところでございます。</p> <p>造成予算について、令和5年度当初予算では、町営スケートリンクの今後の在り方を検証する必要があるため、町営スケートリンクに係る予算は未計上となっています。9月定例議会で改めて関連する補正予算を提案する予定ですのでよろしくお願いいたします。</p>
<p>按田町長</p>	<p>スケートリンクにつきましては、私の就任時にも議論があったところでございます。</p> <p>豊頃町の歴史として、スケートリンクが無くなってしまふことはいかかなものかと話をしていた中で、教育委員の皆様にもご説明をさせていただきました。議会につきましても、町営スケートリンクの仮設や試行期間について説明をさせていただき、この2年間に至ったところでございます。</p>

	<p>説明にもありましたが、初年度についてはリンク造成に苦勞をしましたが、2年目については順調に進んでいったこともあり、関係者の皆様からも前向きなご意見をいただくことができました。</p> <p>今年度につきましても、当初予算ではスケートリンク関連の予算はみていませんでしたが、関係機関との話し合いの末、9月定例議会にて予算を計上して、町営スケートリンクの造成を続けていくこととなります。今後、永久に町営スケートリンクの造成を続けていくことは難しいですが、その時々々の情勢等を踏まえまして、単年度ごとに事業の見直しをおこなって、しっかりと考えていきたいと思っています。</p>
中川教育長	<p>ただ今、町長からもお話しがりましたが、教育委員会としても、小学校1年生から3年生くらいまでは、子どもたちにスケートを積極的に経験してほしいという思いがあります。</p> <p>過去には、スケート少年団に入ることによって、スケートリンク造成に保護者が携わらなければいけないということが、スケート少年団の団員減少や造成委員の人手不足につながった経緯もあります。</p> <p>このような経緯を造成委員の皆様にも踏まえてもらいまして、多くの子どもたちがスケートリンクを使用してもらえるように進めていきたいと思っています。</p> <p>また、スケート靴等の用具を理由にスケートから遠ざかってしまうケースもあると聞き及んでいますので、その点につきましても皆様から知恵を借りて解決していきたいと思っています。</p>
按田町長	<p>これまでの一連の説明がありましたが、委員の皆さんからの感想やご意見等がありましたらお願いいたします。</p>
宝田代理	<p>リンクについて不用という意見が無かったので安心した。</p> <p>豊頃町にはスケートの歴史があるし、冬期間の子どもたちの体力づくりなどを考えてもスケートを体験することは必要だと思う。</p> <p>今はスケートリンクを造成できる場所があるので、場所が確保できるうちは、事業を継続していくほうが良いのではないかと。</p>
按田町長	<p>ありがとうございます。</p> <p>スケート人口の減少という課題もありますが、保護者等の意見も聞いて、できるだけスケートリンクを利用してもらえよう、考えていきたいと思っています。</p> <p>他に感想やご意見等はありませんか。</p>
各委員	<p>なし。</p>
按田町長	<p>よろしいですか。</p> <p>それでは、町営スケートリンクに係る今後の在り方については以上とします。次に、学校給食費の補助金交付の検討について事務局から説明をお願いします。</p>

<p>廣澤専門員</p>	<p>最初に、経過ですが、学校給食に関わる経費については、施設・設備及び運営に要する経費は設置者である地方公共団体が負担し、食材料費等については保護者が負担することを学校給食法で明らかにしており、保護者は学校給食費として負担しているところです。</p> <p>本町における学校給食費は、1食当たり小学校230円、中学校265円、保育所180円となっていますが、平成21年度以降は、改定は行わずに、消費税改定や物価高騰による値上がり分、これらについて給食費を超過する分の食材費用は町費で負担して現在に至っております。</p> <p>しかし、近年のコロナ禍やロシアのウクライナ侵攻、円安等による物価高騰は、住民生活に大きな影響を及ぼしている状況であります。そのようなことから、これまでに本町においてもその対策として、水道基本料金の半年間無料やクーポン券の発行等の支援策を実施してきたところですが、今回はその一環として、町長部局と協議の結果、子育て世代に対する物価高騰対策を次のとおり検討しているところであります</p> <p>事業内容などの説明の前に、十勝管内給食費の状況などについて6ページからの資料をご覧くださいと思います。</p> <p>資料1は、十勝管内市町村の1食当たりの給食費の金額を小中学校別に高い方から順位をつけた表になります。</p> <p>豊頃町は、小学校では、低い方から4番目。中学校では、池田町と同額で1番低い現状です。ご覧のように小学校・中学校とも士幌町が1番高額で、288円と327円と本町よりも60円ほど高くなっていますが、本年度から全額補助を実施し、上位はほとんどが増額改定したうえで実質無償化しております。</p> <p>なお管内では、完全無償化が5町、一部補助・免除が3町村となっています</p> <p>7ページをお開きください</p> <p>資料2は、豊頃町の学校給食費の変遷をまとめたものです。</p> <p>資料3については、補助を実施した場合の金額を示していますが、後程説明いたします</p> <p>資料4は、物価高騰の状況を北海道全体の食料における消費者物価指数の推移で示したもので、ご覧のとおり昨年からの上昇が続いております。</p> <p>5ページに戻っていただきまして、事業の内容は、子育て世代に対する物価高騰対策を目的として、学校給食費相当額の補助金を交付するものです。</p> <p>対象者については、小学校・中学校に在籍する児童生徒の保護者と考えております。</p> <p>実施期間は、本年令和5年10月分から令和6年3月分までの半年間の給食費とし、事業の実施方法としては、保護者が補助申請等を学校長に委任し、委任された学校長が交付された補助金を保護者分の給食費として納付する方法で実施したいと考えています。</p> <p>次に7ページの資料3をご覧ください。</p>
--------------	---

	<p>事業を実施した場合の金額が、どのようになるのかを各給食提供先ごとに示したものです。</p> <p>豊頃小学校では、児童と職員分に分け、黄色で示したものが補助対象となる児童の経費です。1年分の給食費収入に対して、その材料費の支出額と内訳を示しています。</p> <p>補助を実施することによって、10月からの給食費が町費に振り替わるというものです。なお、右端の欄は、材料費の給食費相当分から超過した分をこれまで負担してきたと話しましたが、補助事業実施後もこの考え方については、変わらないということを示しています。</p> <p>表下段の計の欄で全体を見ますと、児童・生徒分の10月から3月までの給食費が0円になり、その分400万円余りを町が補助金として交付し、町が負担することになるというものです。</p> <p>5ページに戻りまして、最後にスケジュールとして、7月13日には、学校給食運営委員会が開催され、本日と同様の事業内容を確認いただきました。その中で、実施期間について延長されないのか質問があり、物価状況や実施経過を見ながら検討していきたいと回答しております。</p> <p>7月25日に総合教育会議にて内容を精査し、8月23日の定例校長・教頭会議において内容確認、同日の教育委員会議で補助金交付要綱、補正予算案を提案・承認いただき、最終的には9月上旬の議会定例会に提案し、議決を受けて実施していくスケジュールを考えております。</p> <p>以上ですので、ご協議の程よろしくお願いいたします。</p>
中川教育長	<p>先ほど説明にもありました、学校給食運営委員会でも説明をさせていただきましたが、給食費だけでなく、おいしい給食について、量を落とさずにどう提供できるかについて、今まで町費を充ててまいりました。</p> <p>実際、教職員からも豊頃町の給食はおいしいとの声をいただいている中で、これまでと同様の給食をどう維持していくのかも大変な課題です。</p> <p>また、今回の学校給食費補助事業を実施することで、半年間の給食費を実質無償化とします。</p> <p>給食を提供する側としましては、給食費の課題もありますが、今後も安全でおいしい給食を提供することを前提として、確認してきたところであります。</p>
按田町長	<p>これまでの一連の説明がありましたが、委員の皆さんからの感想やご意見等がありましたらお願いいたします。</p>
各委員	<p>なし。</p>
按田町長	<p>よろしいですか。</p> <p>それでは、学校給食費の補助金交付の検討については以上とします。</p> <p>次に、その他について事務局から説明をお願いします。</p>
森課長	<p>本日の議題となりました2件の案件ですが、いずれも9月議会定例会にて補正予算を提出する予定となっています。</p>

	また、8月1日に開催される議会全員協議会にて、事前に説明をさせていただき予定となっておりますので報告いたします。
按田町長	その他については以上とします。 これをもちまして第1回豊頃町総合教育会議を終わります。 本日はありがとうございました。